

## 試験研究成果普及情報

部門	野菜	対象	普及
課題名：メロン新品種「TLタカミ」の特性と側枝の管理			
[要約]「TLタカミ」は、早い作期を除き、生育、果実肥大とも「タカミ」と同等かやや良好である。這い栽培だけでなく、立ち栽培への適応性もある。しかし、巻きひげの発生部位には巻きひげ由来の葉や側枝が発生することがある。これを放任すると着果枝の生育を妨げるので、速やかに除去する。			
フリーワード メロン、巻きひげ、TLタカミ			
実施機関名	主 査	農業総合研究センター・北総園芸研究所・東総野菜研究室	
	協力機関	農業総合研究センター・暖地園芸研究所・野菜・メロン研究室	
実施期間	2005年度～2007年度		

### [ 目的及び背景 ]

千葉県と（財）日本園芸生産研究所が共同育成した「TLタカミ」は、巻きひげが発生しないため、整枝・誘引などの栽培労力の軽減化が可能である。そこで、本品種の特性を明らかにし、円滑な現地普及を図る。

### [ 成果内容 ]

- 1 「TLタカミ」は「タカミ」に比べ、早い作期では定植後の子づるの伸長が劣る。果実肥大は「タカミ」と同等かやや良く、ネットの発生・発達、果皮色及び糖度は変わらない（表1、表2）。
- 2 立ち栽培で直立誘引する場合、「TLタカミ」のつるの垂れ下がりとは「タカミ」と同程度である（図1）。
- 3 「TLタカミ」では、すべての作型で巻きひげが発生しない。しかし、巻きひげの着生部位には、1枚の葉、2節で心止まりとなる雌花のない弱い側枝、2節で心止まりとなる雌花のある弱い側枝及び本来の側枝と変わらない強い側枝が発生することがある。この巻きひげ由来の強い側枝は、遅い作期ほど発生しやすく、これを放任すると本来の着果枝の生育を妨げるので、速やかに摘除する必要がある（図2）。
- 4 巻きひげ由来の強い側枝の発生は、育苗ポットの大きさの影響を受け、大鉢では低節位に、小鉢では上位節に多い（図3）。

### [ 留意事項 ]

メロンでは本葉と巻きひげの間に本来の側枝が発生する。複数の側枝がある場合は、側枝の長さ、太さ、雌花の有無に関わらず、外側の側枝が巻きひげ由来の側枝である。

[ 普及対象地域 ] 県下全域

[ 行政上の措置 ]

[ 普及状況 ]

[ 成果の概要 ]

表1 トンネル栽培での作期と生育 (平成17年)

作期	品種	交配前		
		定植時	子づる長	子づる葉数
		草丈 (cm)	(cm)	(枚/本)
早期	TLタカミ	18.2	58.9	7.9
	タカミ	17.1	64.2	8.8
普通	TLタカミ	13.8	59.2	7.7
	タカミ	13.0	63.6	8.5
晚期	TLタカミ	16.2	54.1	6.9
	タカミ	15.9	53.8	7.3

注1) 早期区: 2月15日播種、3月15日定植、普通区: 3月1日播種、3月29日定植、晚期区: 3月16日播種、4月14日定植  
 2) 定植時の生育: 定植日調査、交配前の生育: 早期区4月6日、普通区4月21日、晚期区5月1日調査

表2 トンネル栽培での作期と果実肥大、外観、糖度 (平成17年)

作期	品種	果重 (g/果)	ネット			果皮 Brix(%)	糖度 Brix(%)
			密度 (密)	太さ (太)	盛り (盛)		
早期	TLタカミ	1,500	3.9	2.4	2.1	2.9	16.9
	タカミ	1,510	3.9	2.3	2.1	3.0	16.7
普通	TLタカミ	1,350	4.8	3.6	3.0	3.8	15.9
	タカミ	1,270	4.5	3.7	3.3	3.8	15.8
晚期	TLタカミ	1,540	4.5	2.5	2.1	2.4	15.5
	タカミ	1,500	4.2	2.5	2.1	2.3	15.2

注1) 早期区: 4月28日交配、7月1日収穫、普通区: 5月10日交配、7月9日収穫、晚期区: 5月18日交配、7月17日収穫  
 2) ネットの密度を5(密)~1(疎)、太さを5(太)~1(細)、盛り上りを5(良)~1(不良)の5段階に果実ごとに評価した

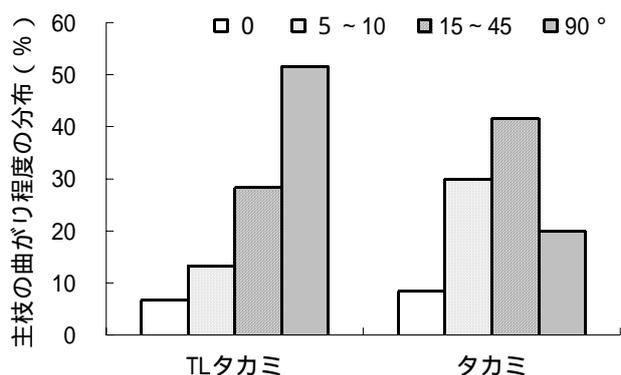
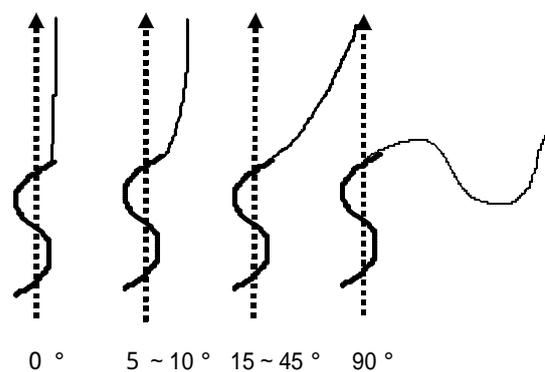


図1 立ち栽培における主茎の曲がり程度 (平成17年)

注1) 2月2日播種、3月3日定植、1株2本整枝  
 2) 凡例の数字は、主茎を4日間誘引しなかったときの垂直方向に対する主茎の角度。数字が大きいほうが曲がり大きい  
 3) 4月21日調査



主 茎: 実線  
 誘引線: 点線

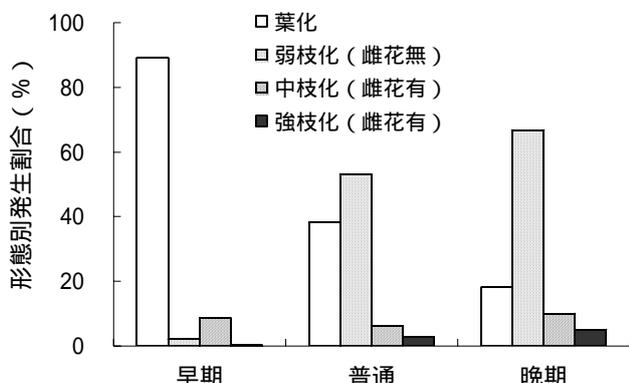


図2 トンネル栽培での作期と「TLタカミ」の巻きひげの形態変化 (平成17年)

注) 早期区: 4月28日交配、7月1日収穫、普通区: 5月10日交配、7月9日収穫、晚期区: 5月18日交配、7月17日収穫

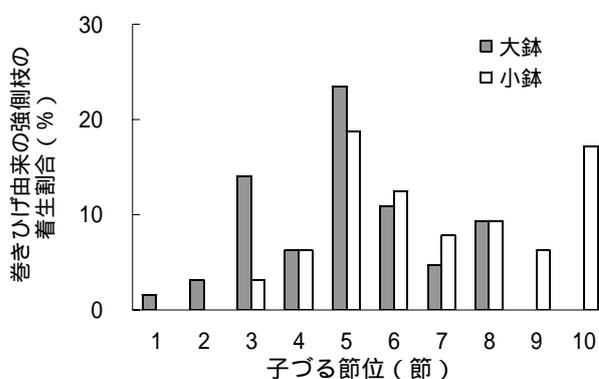


図3 育苗ポットの大きさと巻きひげ由来の強側枝着生割合 (平成18年)

注1) 3月16日播種、4月13日定植  
 2) 大鉢は10.5cm径(培養土500ml)、小鉢は9.0cm(250ml)

[ 発表及び関連文献 ]

- 1 平成20年度試験研究成果発表会 (野菜部門)
- 2 平成17年度試験研究成果普及情報
- 3 平成18年度園芸学会春季大会口頭発表、園芸学会雑誌、第76巻別冊1
- 4 平成19年度園芸学会春季大会口頭発表、園芸学会雑誌、第77巻別冊1

[ その他 ]